

紀の川

ひととまちをつなぐ

広報

ユンハンス(ドイツ)の小型柱時計。100年以上の時を刻んできた。時代が移り変わっても時刻を告げる鐘の音は変わらない

特集 教えて、おじいちゃん おばあちゃん

今月の情報ワイド

○定額給付金・子育て応援特別手当

○市長選挙・市議会議員一般選挙 立候補予定者説明会

○ごみ分別の効果は!?

○紀の川市スポーツフェスティバル 2009

2009

9



昨年に引き続き、8月5日に打田体育館で開催された「パナソニックキッズスクール 手作り乾電池教室&バレーボール教室 in 和歌山」。

午前中に行われた手作り乾電池教室では、ちょうど単一電池と同じ大きさの筒にマンガンの粉を詰め込んで乾電池を作りました。電池が完成すると、豆電球を使って電気が起こるかどうか確認しました。豆電球に光がともると、ホッとした表情を見せる児童も。

午後は、スポーツ少年団を対象にしたバレーボール教室。Vリーグで活躍するパナソニックパンサーズの選手たちの指導に子どもたちは目を輝かせました。中でも、間近で見るプロ選手の強烈なスパイクには歓声が上がりました。「このスパイクを受けてみたい人？」の問いかけにも多くの手が上がり、子どもたちは果敢にチャレンジしていました。

パナソニック株式会社エナジー社



紀の川市



病気がかかっているか、かかっているとしたら病名は何か、実際のエコー画像を見ながらの試験。受けているのは全員現役の医師です。

紀の川市ピンクリボンキャンペーン推進本部



JABTS (日本乳腺甲状腺超音波診断会議)

8月1日・2日の2日間、県内の医師たちが県立看護学院につどい、JABTSの講義を受けました。

「検診の受診率向上と乳がん検診精度管理は、両輪をなすもの」紀の川市ピンクリボンキャンペーン推進本部はそう考え、JABTSと共催の乳房超音波講習会に取り組みました。JABTSは「ジャッツ」と読みます。特に若年層を対象にした乳がん検診には、超音波診断(いわゆるエコー検査)が非常に有効だそうです。JABTSは、超音波診断の導入を広めるための活動をしています。JABTSが開催する診断技能を高めるための講習会には、全国の医師・検査技師の参加申し込みが殺到します。今回、紀の川市乳房超音波講習会として、おもに和歌山県内の医師を対象に、国内の名医の指導を仰ぐことができました。

講師のひとり、筑波大学付属病院放射線科助教授の東野英理子さんは「乳がんの早期発見のために、質の高い検診を広めなければならない。超音波診断は音波を利用した検査なので被爆の心配が無く、小さなガンの発見にも効果が期待できる」と話していました。

コラボレーション



写真右ページ)自宅で機を織る勝浦さん 左ページ)西川さんと西川さんが旅先で撮影した写真、右から能登島ソワジ鼻と岩島(石川)、橋原町神在居の棚田(高知)、中田島砂丘(静岡)、中小田井の家並み(愛知)、三ノ間漁港(大阪)、高野坂の石畳道(和歌山)

『現役』趣味に生きる

今月は「教えて、おじいちゃん
おばあちゃん」と題し、戦前生まれ
の人たちに教えてもらった話を紹介
します。

自身の趣味の話から戦争の話ま
で、内容は多岐にわたります。共通
点は、ご自身の体験にもとづく話と
いうことだけ。

たくさんの経験を積み上げてきた
人たちの話から、何か感じ取って
もらえたらと思います。どうぞ読んで
ください。

勝浦福香さん (81)

何でも自分でやらないと気がすま
ないという勝浦さん。はっさくの減
反が奨励されたとき、切ったはっさ
くの処分は自分でしました。一本一
本が、苗木のころから大切に育てて
きたものだったので、切ない気持ち
ではっさくの灰を取っておいたそう
です。

勝浦さんの趣味は染め織り。還暦
のころに始めましたが、今では趣味
の域を超えています。

自分で育てた藍やアカネ、米国に
住む息子が送ってくる材木のチップ
などを使って糸を染めます。出来上

教えて、
おじいちゃん
おばあちゃん

がつてみるまで、また着物に仕立て
るまでどんな色になるか分かりませ
ん。想像しながら作業をするのは楽
しいものです。

染め織りを通じて、たくさんの人
に出会いました。出会いこそが宝も
の、と勝浦さんは言います。著書を
読んで「会ってみたい」と連絡した
人もいました。

人が人を紹介してくれ、勝浦さん
の世界がどんどん広がっていきまし
た。

遠くの展覧会や講習会に行くとき
は、いつも夫との2人旅でした。染
め織りへの情熱をやさしく受け止め
てくれた夫との出会いが勝浦さんに
とって一番の宝物かもしれません。

西川寛巳さん (80)

これまで、旅に関する7冊の本を
書いた西川さん。どれも旅先で出
合った情景を書き記したものです。

著書のあとがきには、哲学者三木
清の言葉がしばしば登場します。

「旅において出会うのは常に自己自
身である」

旅行と旅は違うという西川さん。

旅すること自体を目的に、制約を持
たず、一人で旅をすることで、自分
を見つめるのだそうです。

これまでの旅では、『日本の原風
景』を追い求めてきました。そこに
は派手さこそないものの、積み重ね
てきた歴史、文化の重みが息づいて
います。西川さんは旅の中で、その
土地に根ざすものをじっくりとかみ
しめてきたのでしよう。著書を読ん
でいるとそう感じます。

次に書く本では、日本の伝統行事
を書きとめておきたいと話します。

西川さんが今まででもっとも感動
したのが、鉄道作家宮脇俊三さんに
著書の序文を書いてもらったこと。
西川さんが「国鉄全線完乗」を成し
遂げたことがきっかけになりました。

「国鉄全線完乗も、はたから見たら
何にも意味のないこと。だけど自分
は大マジメでやっていた」

好きに理由はない。でも、好きだ
からこそこんなことができた。そし
てそれを認めてくれる人がいた。ム
ダではなかった。

人生にムダなことなどない、西川
さんの話を聞いていると思わずには
いられません。

青柳良一さん (92)

戦前も農家は貧しい暮らしをしていた。大正デモクラシーのころ、景気が良かったはずなのに、おだてられて高級な呉服などを買って借金を作る。そんな農家が多かった。

町の様子もだいぶ変わった。道が良くなった事と、戦後の農地開放で、農家の生活が一変した。戦後すぐは、食料不足だったので、米と麦を作れと指導されたが、昭和43年ごろから米が余りだし、当時よく売れたみかんに転換する人が多かった。

「戦争はするもんでない。どっちにも損ばっかり」

青柳さんは、第4師団和歌山歩兵隊61連隊第2中隊に所属していました。ケガをした兵の看護をする衛生兵に志願してなった青柳さん。前線で戦わないことで後ろめたい気持ちもありました。でも、ひたすらまじめに務めました。食べるもの着るものがない時代、悪いことをして時をしのいだ人もたくさんいましたが、自分はまだめすぎたほどだったと青

柳さんは振り返ります。今では、同じ隊の同窓会で「お前には世話になった」とねぎらいの言葉をかけられることも多いそうです。

戦争について、日本はアジアの各国に悪いことばかりしたと伝えられているが、良いこともしたのに伝えられていないと感じています。

坂倉光雄さん (79)

「物を大切にする。欲しいものはお金をためて買う」こんな価値観が崩れていった高度成長期に疑問を抱いていました。

坂倉さんは、旧制中学を4年で卒業しました。終戦の翌春、労働力不足に対応するため旧制中学4・5年生が同時に卒業したことは、あまり伝えられていません。

戦時中の軍事教育、「いつ死ぬか分からない」青春時代を過ごした世代。そんな世代の人たちに、社会は、福祉は、冷たくないかと、坂倉さんは日ごろ語ることはない胸のうちを教えてくださいました。

神森和子さん (72)

丸いちゃぶ台を囲む家族、そこには家族のあるべき姿があった。親子の会話のなかで、子どもが自然に『良い悪い』を覚えていったのが、戦前の家庭だと神森さんは言います。

それぞれの家庭には、子どもに伝える教えがあり、そして、自分の着るものがなくても子どもに食べさせるのが親のすがただった。どんなに苦労をしても子どもを育て上げる、それが当たり前だったはずでは。今、いろいろなことを考え直す時期なのは、と疑問を投げかけます。

写真のセルロイド製の筆箱は神森さんが昭和18年、小学校の入学のときに買ってもらったもの。今も大切に使っています。

敗戦後、当時住んでいた青森県の軍港、大湊から和歌山、仙台へと移動しました。大湊にはロシアの兵が押し寄せると考えられたため、移り住む場所がある人は、身の安全のために立ち退くようにと命令が出たためです。列車には大きな荷物を持つて乗ることはできませんでした。その筆箱が唯一の私物でした。馬や石

炭の貨車、汽車の網棚に乗せてもらって何とかがたどり着いた和歌山は一面焼け野原。和歌山市駅から堀止まで見渡せるほどでした。

頼りにしていた親戚も空襲で大変な状況でした。「訪ねてきたものに告ぐ。○○の倉庫に暮らしている」親戚の家があった場所に貼り紙がありました。その倉庫に行ってみると、もうこれ以上人が入る余地はありませんでした。和歌山での生活をあきらめ、また仙台まで戻りました。

シベリアに行っている兄が帰ってこないかと毎月父は舞鶴の港に行きました。母と姉は仙台駅へ行きました。「岸壁の母」というヒット曲があります。同じ心境です。

2年後、シベリアから兄が帰ってきました。以前のやさしかった兄が、別人のような風貌になっていま

した。口数が少なく、険しい表情になっていました。後もあまりシベリアの話はしませんでした。

戦争はだめ、平和ボケしすぎてもだめ。平和のありがたみを若い人たちに分かって欲しい、と神森さんは語ってくれました。

匿名で掲載することを条件に、満州への移住と帰国の事を話してくれた人もいました。

匿名 (82)

「この土地にやってきたころと比べたら、もう何もかも変わった。今は水さえ買って飲む時代。昔はそこらへんの川の水飲んでたんや」

市内の山あいの地域に住むその女

性は終戦後に満州からこの土地にやってきました。

山林を切り拓いて住居を構えた。木を切って、根を掘り起こし畑にする。1日にタタミ1畳分が関の山。20歳のとき、満州で迎えた終戦。その日、生きていくために「男になれ」と親から言われ、頭を丸めた。親きょうだいが、栄養不足で病床にあったため、帰国できなかつた。1年後、家族を看取った後、1人帰国。兵役でロシアに行っていた夫とは、その2年後に再会する。

「敗戦になったとき、敵国の兵に乱暴されるのをおそれて、看護師が集団で川に入水したことがあります。かわいそうと思うけど、そんな人もいたんや」

戦時中のことはもう忘れない、その人はつぶやきました。



青柳良一さん



神森さんが大切にしている筆箱



坂倉光雄さん

語り継ぎたい昔のこと

教えて、おじいちゃん おばあちゃん

作りかけの物語

教えて、おじいちゃん おばあちゃん

以前、昔の話を集めて本を作ると聞き、取材したことがあります。昭和初期から戦後にかけての生活のことをつづろうとした本です。

その人はすでに亡くなっていますが、本の制作もなくなってしまうのですが、そのプロジェクトに参加していた人の話を聞くことができました。

北 節子さん (69)

生まれは朝鮮(現在の韓国)、5歳のときに帰国しました。

父は朝鮮で、郵便局長を務めながら、運送業、製絹業、瓦工場を営んでいた。敗戦で帰国することになった。

帰国の船はヤミ船、父の工場で働いていた朝鮮人が用意してくれた。日本は食糧不足だから米を持って行くと船に積んでくれた。

幸いにも、親戚に農家が多かったので、帰国後も食べ物に困ることはあまりなかった。伯父の畑を借りてさまざまな作物を栽培した。父や兄は、家から遠く離れた畑まで肥えを歩いて運んだ。

粉河寺は子どもたちの遊び場だった。大門から中門までの石畳は自転車の練習場だった。

よく覚えているのは「すくろかき」粉河寺の境内の落ち葉をかき集めてドンゴロス(麻袋)に入れて持ち帰った。かまどの燃料にするためだ。

家の手伝いもたくさんした。ご飯を仕掛けたら、妹や弟をおんぶして遊びに行く。かくれんぼの途中で、

ごはんの出来具合を確認に何度も帰った。

近所の子どもみんなで遊んだ。年上の子が花を摘んで染め物を教えてくれた。それと、「みどり」という木の実をよく友達が取ってきてくれた。ガムと同じようにかんだ。

母は12人の子どもを産んだ。出産の手伝いも当然しなければならなかった。

今、北さんも6人の子どもがいます。孫は15人。子どもは「小さいころは一人っ子やきょうだいの少ない子がうらやましかったけど、今は感謝してる」と言ってくれるそうです。きょうだいが助け合うことも、自分に似ている。自分も昔の母と同じことをしている、と思うそうです。

大原 明さん (82)

昭和10年代の農村の生活は、今と比べると雲泥の差があります。今は、衣・食・住・農作業の方法・農作物の種類など、格段に変化向上しています。

●食事のこと

麦飯が常食だった。盆・正月・祭ぐらいしか白いごはんを食べることができなかった。白米と麦の混合割合はつきり覚えていないが、炊き上がると麦と白米が完全に分離していたのを覚えている。炊き上がったごはんは必ず木製のおひつに移しかえていた。移すときは、神棚と仏前に供える分と家の主人が食べる分の白いごはんをまずおひつの一角に移し、残った大部分の米と麦をよく混ぜておひつに入れていた。

米の精白は、自宅から3百メートルぐらい離れたところに水車小屋があつて、そこに米つき用の臼が備え付けられていた。朝食は、いつも粥で、その際の副食はほとんど漬物だった。夕食は昼の残りの麦飯にお粥をぶっかけての食事だった。

副食は、芋・大根・ごぼう・干し大根などの野菜が中心で、高野豆腐、油揚げ、豆腐、卵、魚の干物、豆類は比較的よく食べさせてもらった。どじょう汁：稲刈りのあと、田んぼを乾燥させるためにネキ掘りをする、土の中から多くのどじょうが出てくるので、バケツに入れて持ち帰った。丁度、そのころはマツタケの出盛り期で、家の松林には多量のマツタケが生えた。このマツタケとうどんをどじょうの味付けで煮込むわけである。あんなうまいうどん雑炊はもう何十年も食べたことがない。どじょう汁は、近所の人を招いて一緒に食べたものである。

●農休日

今と違って、昔は農産物の種類が単純だったので、農家の仕事の区切りが大体そろったものだ。そのため農家は一斉に休みをとったわけである。その日は各戸に触れを出すと同時に、白地に太い字で『休』と書いた旗を長い竹ざおに縛り付け、高台にあるお寺の軒先に立てていた。

さなずり(さなぶり)：田植えが終わると、稲苗をきれいに洗って一握りの束にして荒神様にご膳とともにお供えし、神様・仏様にもご膳をお

供えして、無事に田植えが終わったことのお礼をした。

いんのこ：秋の収穫や麦撒きもすんで農作業も一段落すると、亥の子休みをして今までの労に報いた。



「歴史から学ぶ」といいますが、歴史の教科書に載っているのは、いわばその時代の代表的なできごとで、それがすべてではありません。教科書に載っていないさまざまなできごと、いろんなことが重なりあつて歴史は積み上げられます。

過去があるから現在がある。当たり前のことですが、私たちは、過去に関係なく現在があると思っではないでしょうか。

複雑で難しい歴史や、教科書に載らない小さな歴史も、身を持って体験した人、その時代を生きた人から聞くと、受け入れやすく、そしていつまでも頭の中に残ります。今回、取材をしながら感じました。

生の歴史を聞けることはとても貴重なことです。だから、たくさん話してほしい、おじいちゃん、おばあちゃん。

写真右) 兄が粉河の小学校に入学するために一時帰国したときの写真。抱っこされているのが北さん。左) 昭和10年代、学生時代の北さんは左端に写っている



11 10月の母子保健・予防接種

乳幼児健康診査・健康相談・予防接種
※対象児には、個別通知します
 ※会場はすべて本庁南別館です

- 4か月児健康診査
 平成21年6月生まれ対象
 10月21日(水)・28日(水)の午後
 受付は午後1時～1時30分
- 7か月児健康診査
 平成21年3月生まれ対象
 10月20日(火)・27日(火)の午後
 受付は午後1時～1時30分
- 10か月児健康相談
 平成20年10月生まれ対象
 10月8日(木)・9日(金)の午前
 受付は午前9時～9時30分
- 1歳8か月児健康診査
 平成20年1月生まれ対象
 10月16日(金)・23日(金)の午後
 受付は午後1時～1時30分
- 2歳6か月児健康相談
 平成19年3月生まれ対象
 10月6日(火)・7日(水)の午前
 受付は午前9時～9時30分
- 3歳8か月児健康診査
 平成18年1月生まれ対象
 10月15日(木)・22日(木)の午後
 受付は午後1時～1時30分
- ポリオ集団投与
 平成20年2月～21年1月生まれ対象
 10月2日(金)・5日(月)・13日(火)・
 14日(水)の午後
 受付は午後1時～1時30分



ぶるぶる健康運動教室

日常生活に運動を取り入れるためのワンポイントアドバイス。

<夜の部>

- 開催日
 10月9日(金)・23日(金)・11月13日(金)・27日(金)・12月4日(金)
- 会場と開催時間
 市役所本庁南別館 午後7時30分～9時(5回とも)
- 定員 先着20人

<昼の部>

- 開催日 10月20日(火)
- 会場と開催時間
 桃山保健福祉センター 午後1時30分～3時30分
- 定員 先着30人

※運動をしますので、開始直前の飲食は控えてください。
 ※動きやすい服装(ベルト不可)で参加してください。飲み水かお茶・
 タオルを持ってきてください。

ぶるぶる栄養教室 メタボ改善バランス食を学ぼう

気になる食事の注意点を管理栄養士から学びませんか。

- テーマ(全2回の教室です)
 第1回 なぜメタボになるの?食生活を振り返りましょう。
 第2回 何をどれだけ食べたらいいの?バランス食を作って食べ
 ましょう。(エプロンと三角巾が必要)
- 会場と開催日
 那賀保健福祉センター 10月14日(水)・11月13日(金)
- 開催時間 午前10時～正午(2回とも)
- 定員 いずれも先着20人

メタボ改善・ダイエット・運動不足解消に



健康運動教室
 運動ヨガ教室
 栄養教室

どの教室も申し込み・問い合わせは健康推進課 (Tel. 77・0829)

ぶるぶる栄養教室 貧血・骨粗しょう症予防

気になる食事の注意点を管理栄養士から学びませんか。

- 開催日 9月29日(火)
- 会場と開催時間
 市役所本庁南別館 午前10時～正午
- 定員 先着20人

休日歯科当番 (診療時間：午前10時～午後4時)

電話が繋がらない場合は、那賀消防組合 (Tel. 61・0119) へ。

- 9/6 (日) 安村歯科医院 (Tel. 75・2202)
- 13 (日) 中嶋歯科医院 (Tel. 63・1020)
- 20 (日) 田原歯科 (Tel. 64・1080)
- 21 (月) 山中歯科医院 (Tel. 64・2379)
- 22 (火) 森歯科医院 (Tel. 73・2220)
- 23 (水) 滝川歯科 (Tel. 63・0655)
- 27 (日) 宮本歯科医院 (Tel. 69・3993)

9月の献血日程

9/18 (金)	松源 貴志川店前	10:00～12:00
	市役所貴志川支所	13:30～16:00
24 (木)	市役所桃山支所	10:00～12:00
	和歌山県農協連合会桃山食品工場	13:30～16:00
29 (火)	株式会社メイワ	9:30～12:00
	総合福祉センター 風の里	13:30～16:30
30 (水)	総合福祉センター 風の里	9:30～12:00
	市役所粉河支所	13:30～16:30



那賀休日急患診療所の開設時間

Tel. 77・6410
 日曜・祝日・年末年始の午前9時～午後5時

夜間・休日の病院案内 (24時間)

Tel. 073・426・1199 県救急医療情報センター
 Tel. 61・1791 那賀消防組合

夜間の小児医療電話相談 (毎日実施)

Tel. # 8000 または Tel. 073・431・8000
 としき…毎日午後7時～11時

市内幼稚園の入園案内

市内3幼稚園の22年度の園児募集を案内します。問い合わせは各幼稚園へ。

■智徳幼稚園 (Tel 77・6189)
満3歳児・3歳児・4歳児を募集
願書交付…9月1日(火)
願書受付…9月5日(土)～

■愛の光幼稚園 (Tel 73・3356)
3歳児・4歳児・5歳児を募集
願書交付・願書受付…9月7日(月)～

■あおば幼稚園 (Tel 64・9514)
3歳児・4歳児・5歳児を募集
願書交付…9月17日(木)
願書受付…10月1日(木)～

※対象年齢と生年月日
満3歳児は、19年4月2日～3歳の誕生日を迎えた幼児

3歳児は、18年4月2日～19年4月1日生まれ

4歳児は、17年4月2日～18年4月1日生まれ

5歳児は、16年4月2日～17年4月1日生まれ



8月10日赤ちゃん広場

10月の赤ちゃん広場・子育て教室

申し込みは不要です。気軽に参加してください。ジュース・おやつ・おもちゃは持ってこないでください。

■赤ちゃん広場 (とき 対象地区 ところ)
10月13日(火) 貴志川・桃山地区 桃山保健福祉センター
10月19日(月) 打田地区 本庁南別館2F
10月26日(月) 粉河・那賀地区 那賀子育て支援センター
※時間は午前10時～11時30分です。
※母子手帳を持ってきてください。

■子育て教室 (とき 対象地区 クラス名 ところ)
□1歳児 (平成19年4月2日～20年4月1日生まれ)
10月7日(水) 桃山地区 もも組 那賀スポレクセンター
受付：9時30分～(雨天時9時45分～)
10月14日(水) 粉河・那賀地区 ちゅうりっぷ組
粉河多目的運動場 (雨天時粉河武道館)
受付：9時15分～
10月15日(木) 貴志川地区 いちご組 那賀スポレクセンター
受付：9時30分～(雨天時9時45分～)
10月23日(金) 打田地区 にじ組 打田体育館
受付：9時15分～
※終了時間はすべて午前11時30分です。

■子育て教室 (とき 対象地区 クラス名 ところ)
□2歳児 (平成18年4月2日～19年4月1日生まれ)
10月8日(木) 貴志川・桃山地区 りんご組
那賀スポレクセンター
受付：9時30分～(雨天時9時45分～)
10月16日(金) 粉河・那賀地区 すみれ組
粉河多目的運動場 (雨天時粉河武道館)
受付：9時15分～
10月22日(木) 打田地区 そら組 打田体育館
受付：9時15分～
※終了時間はすべて午前11時30分です。

【問い合わせ】
子育て支援課 (Tel 75・3111)
桃子子育て支援センター (安楽川保育所内) Tel 66・0404
那賀子育て支援センター (名手保育所隣) Tel 75・2331
※9月の赤ちゃん広場・子育て教室の日程は、紀の川市メール配信サービスまたはホームページで確認してください。

介護予防運動教室

運動器の機能向上をテーマに、「わかやまシニアエクササイズ※」に基づいた筋力トレーニング(ストレッチ、ステップ台・イスを使用した運動、体力測定など)です。週1回のトレーニングに加え、自宅でもトレーニングを行います。

■紀の川はつらつ教室
と き：10月～12月の毎週火曜日(全12回)
午後1時30分～3時30分(受付1時～)
と ころ：市役所本庁北別館3階 集会室
定 員：先着20人

対象者：紀の川市「生活機能評価(介護予防健診)」で、運動機能の「特定高齢者」と判定された人、または65歳以上の介護予防に関心のある人
※運動してもよいかどうか、必ずかかりつけ医に相談してください。

申し込みが必要です。9月25日(金)までに、電話またはファックスで申し込みください。

【問い合わせ・申し込み】
高齢介護課介護予防係 (Tel 75・5314
FAX 75・5399)

※「わかやまシニアエクササイズ」は、和歌山大学教育学部 本山貢教授と和歌山県が協働で開発したプログラムです。運動器の機能向上事業として県下全域で取り組まれています。



介護予防教室

65歳以上の人を対象に、運動器の機能向上・栄養改善・口腔ケア・閉じこもり予防などをテーマに、居宅介護支援センターに委託し、教室を開催しています。動きやすい服装で参加ください。

■いきいき元気塾
と き：9月9日(水) 午後1時～3時
と ころ：那賀保健福祉センター2階 多目的ホール
テーマ：『応急手当』について

事前申し込みが必要です。前日までに栄寿苑居宅介護支援センターに申し込みください。

【問い合わせ】栄寿苑居宅介護支援センター (Tel 75・6888)
高齢介護課介護予防係 (Tel 75・5314)

介護保険 介護予防 子育て

かいごほけん
かいごよぼう
こそだて

要介護認定の調査方法が 10月から変わります

認定結果のバラツキを是正するため、要介護認定の方法が10月から変わります。

具体的には、①対象者の日頃の状態をより重視し、②一部の調査項目の判断基準の見直しを行います。

また、4月から9月までは、更新申請の前後で要介護度が異なる場合、更新申請前の要介護度を選択することができましたが、10月以降は、実際の判定結果で要介護度を決定します。

【問い合わせ】高齢介護課 (Tel 75・5314)



8月10日赤ちゃん広場

●定額給付金・子育て応援特別手当

申請はお済みですか？

定額給付金 子育て応援特別手当

- ◎申請期限は、10月6日(火)まで
- ◎期限までに申請がない場合は、お支払いできません
- ◎すでに各世帯主へ申請書類を送付しています
- ◎申請書などが届いていない人は問い合わせください

定額給付金

- 対象者
基準日(平成21年2月1日)において、次の①または②のいずれかに該当する人
①住民基本台帳に記録されている
②外国人登録原票に登録されている
- 支給額
世帯主(外国人は各給付対象者)からの申請により、対象者1人につき1万2千円を支給。ただし、65歳以上の人および18歳以下の人については、1人あたり2万円を支給。

【問い合わせ】
地域振興課 定額給付金担当 (Tel 77・2511 本庁南別館)
子育て支援課 子育て応援特別手当担当 (Tel 75・3111 那賀分庁舎)

子育て応援特別手当

- 対象者
生年月日が平成14年4月2日～平成17年4月1日までの第2子以降で、基準日(平成21年2月1日)において、次の①または②のいずれかに該当する人
①住民基本台帳に記録されている
②外国人登録原票に登録されている
※第2子以降の判定は、生年月日が平成2年4月2日以降の子どもの中で数えます。基準日に子どもと世帯を別にしてきたなどの理由で申請書が手元に届いていなくても、要件にあてはまる人は申請することができます。くわしくは子育て支援課に問い合わせください。
- 支給額
世帯主からの申請により、対象となる子ども1人につき3万6千円を支給。

●市長選挙・市議会議員一般選挙 立候補予定者説明会

【問い合わせ】市選挙管理委員会
(Tel 77・0834 本庁)

任期満了(平成21年12月10日)に伴う紀の川市長選挙および紀の川市議会議員一般選挙を、
■告示日：11月8日(日)
■投票日：11月15日(日)
で執行する予定です。

①立候補予定者説明会

- とき：10月14日(水)午後1時30分～
- ところ：市役所本庁北別館3階
- ※立候補届出用紙などの立候補に必要な書類を交付します。
- ※会場の都合上、出席は候補者1人につき3人以内でお願いします。
- 被選挙権の要件
- 紀の川市長選挙：選挙期日現在で満25歳以上の日本国民
- 紀の川市議会議員一般選挙：選挙期日現在で満25歳以上の日本国民

民で、登録基準日(平成21年11月7日)において市に引き続き3か月以上住所のある人

②投票

- とき：11月15日(日)午前7時～午後8時(一部の投票所は午後7時まで)
- ところ：投票所入場券に記載している投票所
- 選挙権の要件：満20歳以上の日本国民で、登録基準日において市に引き続き3か月以上住所のある人
- 期日前投票：11月9日(月)～14日(土)午前8時30分～午後8時
- ところ：市役所南別館1階ロビー / 粉河保健センター1階 / 那賀保健福祉センター1階ロビー / 桃山IT親子ホール2階郷土資料室 / 中貴志コミュニティセンター1階研修室1
- 不在者投票：指定病院などに入院や入所している人は、その施設の管理者を通じて不在者投票を請求してください。長期出張などにより、滞在先の選挙管理委員会

③開票

- とき：11月15日(日)午後9時～
- ところ：紀の川市打田体育館

の不在者投票を希望する人は、市選挙管理委員会に問い合わせください。
■郵便による投票：重度の身体障害者や要介護5の人で、郵便等投票証明書を持っている人は、投票日の4日前(11月11日)までに郵便等による不在者投票を請求してください。郵便等投票証明書の交付を希望する人は、あらかじめ市選挙管理委員会に問い合わせください。

11月15日(日)執行予定
◎紀の川市長選挙
◎紀の川市議会議員一般選挙
立候補予定者説明会



●ごみ分別の効果は!?

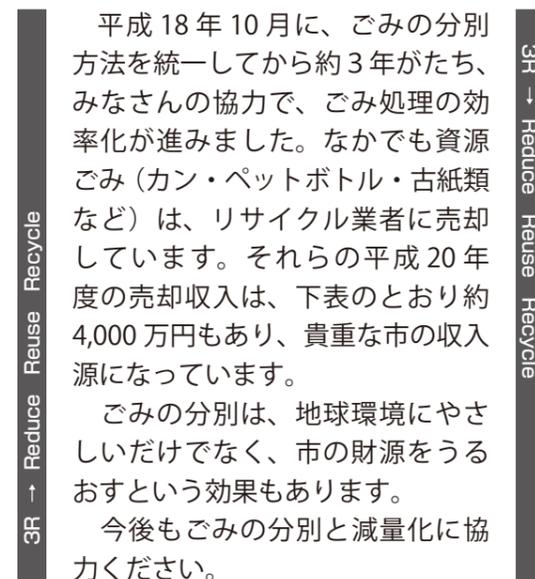
【問い合わせ】廃棄物対策課
(TEL 77・2511 本庁北別館)

資源ごみの売却収入は、 年間約 4,000 万円

平成 18 年 10 月に、ごみの分別方法を統一してから約 3 年がたち、みなさんの協力で、ごみ処理の効率化が進みました。なかでも資源ごみ(カン・ペットボトル・古紙類など)は、リサイクル業者に売却しています。それらの平成 20 年度の売却収入は、下表のとおり約 4,000 万円もあり、貴重な市の収入源になっています。

ごみの分別は、地球環境にやさしいだけでなく、市の財源をうるおすという効果もあります。

今後もごみの分別と減量化に協力ください。



■平成 20 年度リサイクル資源品売却料の内訳

内 容	業 者 名	重量(トン)	売却額(円)
カン類	安田金属興業株式会社	245.44	17,792,449
不燃粗大(机、自転車など)	安田金属興業株式会社	377.38	14,498,525
ペットボトル	株式会社松田商店	78.65	2,229,717
有償入札拠出金(※注)	(財)日本容器包装リサイクル協会	13.60	179,608
古紙類	株式会社はまだ	545.32	5,998,520
合 計		1,260.39	40,698,819

※有償入札拠出金
市では、ガラスびんなど資源ごみの一部を、(財)日本容器包装リサイクル協会(以下「容リ協会」といいます)に委託してリサイクルをしています(実際のリサイクル業務は、容リ協会が入札して決定した業者が行っています)。上表の金額は、有償入札(リサイクル業者が容リ協会へ料金を支払う)された分の金額から、容リ協会への引き渡し量に応じて支払われた金額です。

●紀の川市スポーツフェスティバル

つなげよう みんなの心 みんなの力

紀の川市スポーツフェスティバル 2009

■とき…10月11日(日) 午前8時30分～ (小雨決行/予備日10月12日)

■ところ…打田若もの広場・打田体育館

◎競技種目

とき…午前9時～正午



綱引き

1チーム15人まで。競技は10人(男子は5人以下)で行います。対象は、中学生を除く15歳以上の人

みんなでジャンプ

1チーム20人まで。競技は12人(うち大なわを回す人2人)で行います。対象は小学3年生～中学3年生。大なわを回す人の年齢は問いません。

※「綱引き」と「みんなでジャンプ」は申し込みが必要です。生涯スポーツ課各館に備え付けの申し込み用紙に記入し、9月18日(金)午後5時までに申し込みください。くわしくは生涯スポーツ課各館へ問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ】

貴志川分庁舎内生涯スポーツ課 (TEL 64・9164)
打田生涯学習センター内生涯スポーツ課 (TEL 77・3140)
粉河ふるさとセンター内生涯スポーツ課 (TEL 73・3312)
那賀総合センター内生涯スポーツ課 (TEL 75・2221)
桃山会館内生涯スポーツ課 (TEL 66・2288)

◎ニュースポーツ

とき…午前9時～正午



スポーツチャンバラ

エアソフト剣で行う現代的なチャンバラ

ミニトランポ

専用のトランポリンを使ったストレッチ

カラーリング

12m離れたポイントを狙う陸上版カーリング

ディスクン

円盤を投げ、どちらがポイントに近いかを競う

スカイクロス

輪投げとゴルフをミックスさせたゲーム

同日開催スポーツイベント

第2回市民グラウンドゴルフ大会(打田グラウンド)
第4回市民バドミントン大会(貴志川体育館)
第4回市民インディアカフェスティバル(田中小学校体育館)
マナーキッズ(打田中学校体育館)
紀の川市剣道錬成大会(粉河体育館)
ワンメイクタイムトライアル(若もの広場南堤防)
第4回紀の川市長旗争奪軟式野球大会(桃山グラウンド他)

※各競技の内容・参加要綱など、くわしくは生涯スポーツ課へ問い合わせください。



●●生活

粉河火葬場の修理と再開の予定

火災のため7月4日から粉河火葬場を休止しており、ご迷惑をおかけしています。

火葬炉などの機器に被害がないので、10月中旬以降の再開を目標に、改装工事を行っています。ご理解とご協力をお願いします。

保険証の切り替え(国保)

現在交付している一般保険証・退職保険証(紀の川市国民健康保険被保険者

証)の有効期限は、9月30日までです。
新しい保険証を9月下旬に郵送(簡易書留郵便)します。現在お持ちの保険証は10月以降に各自で廃棄してください。

約1万5千件の保険証を1軒毎、受取りの確認をしながら配達しますので、お届けには多少日数がかかります。

■保険証を受取ったら内容を確認してください

一般被保険者証も退職被保険者証も同じ色になります。氏名、人員などを確認して、もし内容に間違いがあればすぐに連絡ください。

■事業所等の健康保険への加入や転出したときは、必ず14日以内に届け出てください。

●●案内

巨大地震を想定した訓練を開催

■第7回集団救急事故総合訓練
巨大地震によって、家屋、橋、道路が壊れ、電力、水

保ではわかりませんので、国保税が課税されます。
■国保税の納付は忘れずに失業や病气など、特別な理由で国保税の納付が困難な人はご相談ください。
特別な事情が無いのに滞納している世帯には、有効期限の短い保険証や、医療機関で10割負担が必要な資格証明書を交付する場合があります。

【問い合わせ】国保年金課 (Tel 77・2511 本庁)

●夜間・休日の納税受付と相談窓口

平日や昼間来庁できない人は、ご利用ください。国保税、固定資産税・都市計画税、市県民税、軽自動車税が対象です。

■開設日
毎週木曜日(祝日除く)午後8時まで
第2日曜日の午前9時～午後0時30分(今月は9月13日)

■ところ
収税課・市民税課・国保年金課

●納期限のお知らせ 9月30日(水)

忘れずに納めてください。
国民健康保険税 第4期
後期高齢者医療保険料 第3期
【問い合わせ】国保年金課(Tel 77・2511)
介護保険料 第4期
【問い合わせ】高齢介護課(Tel 75・5328)

合警防課 (Tel 61・0119)

新築住宅を守る制度10月から

新築住宅の発注者や買主を保護するため、新築住宅を供給する事業者は、瑕疵の補修などを確実にするための保険や供託が義務づけられます。

【問い合わせ】県建築住宅課 (Tel 073・441・3184)

65歳以上の公的年金受給者のみなさんへ 10月から市県民税の公的年金からの特別徴収(天引き)がスタートします

6月発送の納税通知書でお知らせしたとおり、10月から市県民税の年金天引き(特別徴収)が始まります。特別徴収開始によって新たに税負担が生じることはありません。

◆対象は、21年4月1日現在で次の要件をすべて満たす人です。

- ①年齢が65歳以上
- ②公的年金を受給している
- ③前年中に公的年金を受給し、21年度に公的年金に対して市県民税の課税がある
- ④介護保険料が公的年金から特別徴収されている

※年度の途中で、死亡・市外への転出・税額の変更・公的年金の支給停止などが発生した場合は、特別徴収が中止となり、徴収済額を除いた残りの税額すべてが普通徴収に切り替わります。
※障害年金・遺族年金からは特別徴収されません。
※年金から天引きされるのは、前年中に受給した公的年金の所得にかかる税額です。前年中に、公的年金以外の所得がある場合、これらの所得にかかる税額は公的年金から天引きされず、従来どおりの納付方法になります。

◆例(公的年金にかかる年税額を今年度60,000円、来年度63,000円と仮定した場合)

今年度

月	納付書・口座振替(普通徴収)		年金天引き(特別徴収)		
	6月(1期)	8月(2期)	10月	12月	2月
税額	15,000円	15,000円	10,000円	10,000円	10,000円

普通徴収 1期・2期は年税額の1/4
年金天引き 10月・12月・翌年2月は年税額の1/6

来年度

月	年金天引き(仮徴収)			年金天引き(本徴収)		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
徴収額	10,000円	10,000円	10,000円	11,000円	11,000円	11,000円

仮徴収 4月・6月・8月は前年度の2月と同額
本徴収 年税額から仮徴収額を差し引いて計算

65歳未満の公的年金受給者のみなさんへ 65歳未満の人の年金所得にかかる市県民税は普通徴収になります

年金所得にかかる市県民税を給与から特別徴収することができなくなりました。給与所得にかかる市県民税は給与から、年金所得にかかる市県民税は公的年金からそれぞれ特別徴収されることとなりますが、65歳未満の人は公的年金からの特別徴収の対象外になるため、年金所得にかかる市県民税は普通徴収になります。

【問い合わせ】市民税課 (Tel 77・2511)

●●福祉

戦没者等の遺族に 対する特別弔慰金

戦没者等の遺族で、公務扶助料や遺族年金などを受ける人がいない場合に支給される、第九回特別弔慰金の請求受付を行っています。(請求期間は24年4月2日まで)

今回は、今までに特別弔慰金を受けたことのない人が対象で、戦没者の死亡当時生まれていなかったこと(子については胎児であってもよい)が要件になっています。支給対象者順位など、詳しくは問い合わせください。

【問い合わせ】社会福祉課 (Tel 75・5305) 那賀分庁舎)

●●募集

カーナー教室

プール内でパドリングの基本と水上の安全に関する講習

■とき：9月20日(日)・21日(月)・22日(火)の午前10時～正午

■ところ：那賀B&G海洋センター

■対象：小学4年～中学生

■定員：先着24人

■参加費：1,000円(プール入場料と保険代含む)

■申し込み：9月9日(水)から15日(火)の間、参加費を添え那賀総合センター内生涯スポーツ課へ直接申し込み

【問い合わせ】那賀総合センター内生涯スポーツ課 (Tel 75・2221)

初心者バドミントン教室

■とき：9月15日～11月24日の火曜日(9月22日・10月6日・11月3日をのぞく8回)

■ところ：桃山勤労者体育センター

■対象：市内在住・在勤のバドミントン初心者

■定員：10人(申込多数の場合は抽選)

■参加費：2,500円(保険代含む)

■申し込み：9月11日(金)までに電話で申し込み(市バドミントン協会 榎葉Tel 64・2187 または生涯スポーツ課Tel 64・9164)

【問い合わせ】市バドミントン協会 榎葉(Tel 090・27027426)

脱メタボ宣言 中コミ健康講座

第2弾 脱メタボ宣言くらだど舌と脳が動き出す

■とき：9月26日(土)午前10時～午後1時

■ところ：中貴志コミュニティセンター 調理実習室

■内容：調理実習とお話

■定員：先着24人

■参加費：500円

■持ち物：エプロン、三角巾、タオル

■申し込み：9月20日(日)までに中貴志コミュニティセンターへ電話で申し込み

【問い合わせ】中貴志コミュニティセンター (Tel 65・1155) 月・火・祝日休館)

金山寺味噌 伝承

安心して食べられる金山寺味噌を作りませんか。自分が出した味噌3kgを持ち帰っていただきます。

■日程：9月11日(金)午後1時～4時 米こうじ作り
9月12日(土)午前8時30分～正午 麦豆こうじ作り
9月13日(日)午前8時30分～正午 仕込み

■ところ：桃源郷運動公園 学習体験館

■参加費：3,500円

●打田地区公民館パソコン講座【問い合わせ】打田生涯学習センター (Tel 77・3140)

コース	Aコース	Bコース	Cコース
開催日	10/13(火)～10/16(金)の4日間		10/17(土)・10/18(日)
開催時間	9:00～12:00	13:00～16:00	9:00～16:00(昼休憩あり)
内容	初心者向け ワードソフトの基本操作、電子メールの送受信など(託児サービスあり)		文字入力ができる人向け ワード・表計算ソフトの操作、電子メールの送受信など
その他	ところ…打田生涯学習センター視聴覚室 受講料…1,000円(テキスト代が別途必要) 定員…各講座20人(申込多数の場合は抽選、受講希望者が10人未満の場合開講できないことがあります) 申し込み…9月7日(月)～18日(金)(土日を除く午前9時から午後5時まで)、打田生涯学習センターに備え付けの申込書で直接申し込みください。電話・ファックス・郵送では受け付けしません。		

●桃山地区公民館講座パソコン教室(後期)【問い合わせ】桃山会館 (Tel 66・2288)

コース	ワード初級	エクセル初級
開催日	10/8～毎週木曜日(全6回)	10/9～毎週金曜日(全6回)
開催時間	19:00～21:00	
対象	初心者向け	
その他	ところ…桃山I T親子ホールパソコン室 定員…各講座先着20人 受講料…1,000円(テキスト代が別途500円必要) 申し込み…9月13日(日)～19日(土)(午前9時から午後5時まで)、桃山会館に備え付けの申込書で直接申し込みください。電話・ファックス・郵送では受け付けしません	

※打田地区公民館パソコン講座、桃山地区公民館講座パソコン教室とも、高校生以下は対象外です。

再就職のためのセミナー

■持ち物：エプロン、マスク、三角巾、筆記用具

【申し込み・問い合わせ】桃りゃんせ夢工房 (Tel 66・3454) 午前10時～午後4時 月曜休館)

再就職準備セミナー『あきらめるなんて勿体ない!!』ピンチをチャンスに変える法』

■とき：10月6日(火)午前9時30分～正午

■ところ：打田生涯学習センター 視聴覚室

■対象：出産・育児・介護などで退職して、再就職を希望する人

■定員：先着20人

■申し込み：政策調整課へ電話(77・2511)・ファックス(77・4910)・Eメール(アドレスはページ左上)で申し込み

※ファックス、Eメールの場合は、タイトルを「再就職準備セミナー申し込み」としてください。

水環境施設の見学

※一時保育(1歳から就学前の子も対象)を希望する人は10日前までに申し込みください。

【問い合わせ】政策調整課(Tel 77・2511) / 財団法人21世紀職業財団和歌山事務所 (Tel 073・475・1765)

■見学施設：水ときらめき紀の川館(紀の川大堰)、和歌山市加納浄水場(水道施設)

※現地集合です。

■とき：10月18日(日)午前10時～午後3時

■定員：50人(小学生と保護者25組、応募者多数の場合は抽選)

※昼食を各自で用意してください

■申し込み：往復はがきで申し込み(10月7日(水)必着)

往信用裏面に住所・氏名・年齢・電話番号を、返信用表面に申込者宛名を書いてください。返信用はがきで

大和街道ウォーク

集合場所など当日の予定をお知らせします。

【申し込み・問い合わせ】7640・8511和歌山市七番丁23番地 和歌山市企画課内吉野川・紀の川流域協議会事務局 (Tel 073・435・1015)

■とき：9月27日(日)午前9時受付/9時30分スタート

■集合場所：JR名手駅前

■コース：紀の川万葉の里やかつらぎ公園(昼食)などを經由するJR高野口駅までの約13km

■参加費：200円

■持ち物：弁当・水筒・雨具

※申し込み不要。小学3年生以下は保護者の同伴が必要です。

【問い合わせ】市ウォーキング協会 橋爪 (Tel 77・3488)

●募集

自然観察と百合山 歴史ウォーク

メントルスクール※
新四国をめぐりながら、
百合山の頂上をめざしま
しょう

- とき：10月10日(土)午前8時30分受付／9時スタート
- 集合場所：紀の里農協⑥(まるひゃく)選果場
- 対象：市内在住・在勤の小学4年生以上
- 定員：先着30人
- 参加費：3000円
- 申し込み：9月7日(月)から18日(金)の間(土日を除く午前9時から午後5時まで)、電話で申し込み
- 持ち物：弁当・お茶・タオル・敷物
- 申し込み・問い合わせ：桃

山会館 (Tel 66・22888)

※メントルスクールって？
市民の生涯学習活動のリーダー「メントル」が自主的に企画・運営する公開講座のことです。

ギターを弾こう

- メントルスクール
昔、ギターを弾いていたことがある人、もう一度はじめませんか
- とき：9月13日(日)午後1時～4時
- ところ：貴志川生涯学習センター リハーサル室
- 対象：ギターがある程度弾ける人
- 定員：20人
- 申し込み：9月12日(土)までに電話かファックスで申

押し花教室「河原 母子草の花かご」

- メントルスクール
押花で、あなただけの素敵な額を作ってみませんか
- とき：9月26日(土)午後1時30分
- ところ：粉河ふるさとセンター美術室
- 対象：市内在住・在勤の人
- 定員：先着20人
- 参加費：2,700円
- 申し込み：9月2日(水)から16日(水)の間(土日を除く午前9時から午後5時まで)

貴志川の史跡めぐり2

- メントルスクール教養講座
鳩羽山く七ツ塚古墳群くたてり岩
- とき：10月4日(日)午前9時～正午
- 集合場所：鳩羽山登り口付近(貴志川八幡宮から案内します)
- 参加費：1000円(保険・資料代)
- 定員：30人
- 申し込み：電話かファックスで申し込み
- 持ち物：タオル・飲み物
- 申し込み・問い合わせ：貴志川生涯学習センター (Tel 64・2273 Fax 64・9750)

紀の川市政バス

- とき：9月25日(金)・10月28日(水) 午前9時～午後4時
- 見学施設：歴史民俗資料館、青洲の里、わかやま電鉄など(昼食は各自で用意)
- 集合場所：本庁南別館前
- 申し込み：はがきに氏名、住所、電話番号、参加希望日(9月25日か10月28日のいずれか)、同行者の氏名(3人まで)を明記し、〒649-6492 紀の川市広報広聴課(住所記入不要)に郵送ください。9月11日(金)必着(申し込み多数の場合抽選、申し込みが10人以下の場合は中止します)
- 問い合わせ：広報広聴課 (Tel 77・2511 本庁)

●催し

今月の BU・RA・YO・RI

- 出演：ヒップホップダンス SOUL CIRCUS (ソウルサーカス)
- とき：9月13日(日)午後3時
- ところ：貴志川生涯学習センターエントランスホール
- 問い合わせ：貴志川生涯学習センター (Tel 64・

西貴志コミセンまつり

- 2273)
- とき：10月4日(日)午前10時～午後4時
- ところ：西貴志コミュニティセンター
- 内容：作品展示会、芸能発表、各種体験コーナー、模擬店など
- 前夜祭：10月3日(土)午後7時～9時
- 天文台一般無料公開『中秋の名月観月会』、作品展示会

【問い合わせ】西貴志コミュニティセンター (Tel 65・2211 月・火・祝日休館)

DVD上映会
「おくじびと」の案内は31ページ(としよかん情報)に

講演会 品格ある生き方

- 『女性の品格』の著者、坂東眞理子さん講演会
- 「自分も相手も大切に」品格ある生き方
- オープニングは、チェロによるウエルカム・ミュージック。秋の音楽でリラクゼーションのひとときをお届けします。
- とき：9月20日(日)午後2時～4時
- ところ：貴志川生涯学習センターかがやきホール
- 申し込み：氏名・住所・電話番号・参加人数(1件

ハイランドパーク 粉河秋のイベント

- とき：9月27日(日)午前11時30分
- ところ：ハイランドパーク粉河
- 問い合わせ：林務課 (Tel 73・3311 粉河分庁舎)

広告主を募集しています

あなたのお店を広報紀の川でPRしませんか。(有料)

●表彰

おめでとうございます。
献血活動に対する厚生労働省大臣感謝状
和歌山県立高等看護学院学生自治会
献血活動に対する和歌山県知事感謝状
株式会社デュプロ和歌山事業所
バンドー化学株式会社和歌山工場

●大会結果

- 第4回紀の川市長旗争奪少年野球大会 (7/19・20 粉河運動場)
- 優勝 西貴志野球スポーツ少年団
- 準優勝 東貴志野球スポーツ少年団
- 第3位 岩出ヤンキース
- 第3位 山北フェニックス

【問い合わせ】西貴志コミュニティセンター (Tel 65・2211 月・火・祝日休館)

の申し込みで2人まで参加可(・保育の有無(子ども)の人数と年齢)を明記し、往復はがきがEメール(アドレスはページ左上に)で申し込み

宛て先：〒640-8799 9 日本郵便和歌山支店留め NPO法人和歌山えかんぱにい 坂東眞理子講演会係(往復はがきの場合、返信用おもて面に申込者の住所・宛名を書いてください)

【問い合わせ】NPO法人和歌山えかんぱにい (Fax 073・471・5557)

困ったときの 相談

県民相談・交通事故相談などは「県民の友」
を見てください。また、社会福祉協議会が
行う心配ごと相談などは「福祉きのかわ」
を見てください。

↓市役所の電話番号案内（8：45～17：30）

■市役所本庁 Tel.77・2511
税金、住民票、戸籍、印鑑登録、国民健康
保険、国民年金、健康診断、母子手帳、環境、
地域巡回バス、国勢調査、入札、上水道な
ど

■粉河分庁舎 Tel.73・3311
農業、林業、観光、商業など

■鞆渚出張所 Tel.79・0001

■那賀分庁舎 Tel.75・3111
保育所、子育て教室、介護保険、介護予防、
障害者手帳、那賀地区のし尿収集など

■桃山分庁舎 Tel.66・1100
道路、河川、開発、市営住宅、下水道、地
籍調査など

■貴志川分庁舎 Tel.64・2525
小・中学校、幼稚園などの教育関係、成人式、
文化財、青少年健全育成、生涯スポーツなど

ごみ（廃棄物対策課Tel.77・2511）

■粗大ごみの収集依頼 Tel.77・0857
■打田美化センター Tel.77・4804
■粉河クリーンセンター Tel.73・5705
■那賀アメニティセンター Tel.75・4001
■貴桃クリーンセンター Tel.67・0022

生涯学習・生涯スポーツ

■生涯学習課 Tel.64・9163
■生涯スポーツ課 Tel.64・9164
■打田生涯学習センター Tel.77・3140
■粉河ふるさとセンター Tel.73・3312
■那賀総合センター Tel.75・2221
■桃山会館 Tel.66・2288
■貴志川生涯学習センター Tel.64・2273

行政相談

■紀の川市行政相談
Tel.77・2511（市民課）

総務大臣から委嘱された行政
相談員が行政全般についての相
談に応じます。どの会場でも相
談を受けることができます。
○9月9日(水)午後1時～3時
粉河分庁舎3階E会議室
○9月16日(水)午後1時～3時
本庁南別館2階相談室
○9月24日(木)午後1時～3時
貴志川分庁舎1階相談室

人権相談

■紀の川市人権相談
Tel.77・0855（人権啓発推進
課直通）

こころ・からだ

■労働者の健康相談
Tel.0736・42・2502（伊
都・那賀地域産業保健センター）
毎月第2日曜日の午後1時30
分～4時30分まで、那賀休日急
患診療所で、産業医が健康相談
や健康指導を行います。

■身体・知的・精神障害に関す
る相談と不登校・ひきこもりに
関する相談
Tel.78・2808（麦の郷 紀の
川・岩出生活支援センター）
平日の午前9時～午後5時

■高次脳機能障害に関する相談
Tel.073・441・7070（和
歌山県子ども・女性・障害者相
談センター）月・水曜の午前10
時～午後4時、金曜の午前10時

法務大臣から委嘱された人権
擁護委員が人権全般についての
相談に応じます。事前申込不要
で、どの会場でも相談は受けら
れます。

○9月9日(水)午後1時～3時
那賀総合センター2階会議室
○10月14日(水)午後1時～3時
貴志川保健福祉センター2階
相談室
○11月11日(水)午後1時～3時
桃山保健福祉センター1階相
談室

■高齢者・障害者の人権あし
ん相談
Tel.073・422・5164（和
歌山地方事務局内 人権相談室）

9月6日(日)～12日(土)までの7日
間午前8時30分～午後7時まで

～午後6時
頭部外傷や脳血管障害などが
原因で、言語や記憶など日常生
活にさまざまな困難が生じてい
る人の相談に応じます。

■難病に関する相談
Tel.77・5161（難病連家族会
きぼく）
平日の午前10時～午後4時

■こころの健康相談
Tel.61・0021（岩出保健所）
精神科医と精神保健福祉相談
員などが相談に応じます。

■難病患者や長期療養児の相談
Tel.073・445・0520（県
難病・子ども保健相談支援セン
ター）
難病患者や長期療養児の療養
などに関する様々な相談や情報

電話相談に応じます。

高齢者

■紀の川市地域包括支援セン
ター

Tel.78・3314 打田
Tel.73・6060 粉河
Tel.75・3601 那賀
Tel.66・3013 桃山
Tel.64・0331 貴志川
平日の午前8時30分～午後5時
30分

地域包括支援センターは、高
齢者の健康の維持、向上や安定
した生活のための支援をします。

子ども

■市役所子育て支援課の家庭児

提供。

平日の午前9時～午後5時30分

■障害者の相談
Tel.073・445・7314（子
ども・障害者相談センター）
身体や知的障害のある人に関
する相談に応じます。

■精神障害者の相談
Tel.0737・52・3221（県
立こころの医療センター内）

毎週火曜日の正午～午後3時
まで、和歌山県精神障害者家族
会が、同じ悩みを持つ家族とし
て相談に応じます。

就職

■職業相談 紀の川ワークサロ
ン（ハローワーク和歌山）
Tel.65・3435

童相談

Tel.75・5307（那賀分庁舎内）
平日の午前8時45分～午後5時
30分

■子育て支援センターの子育て
に関する相談
Tel.66・0404（桃山子育て支
援センター）

Tel.75・2331（那賀子育て支
援センター）

■発達障害に関する相談

Tel.073・413・3200（和
歌山県発達障害者支援センター
ポラリス）水曜を除く平日の
午前10時～正午・午後1時～4
時、水曜は午後のみ

自閉症、アスペルガー症候群
その他の広汎性発達障害、学習

豊富な経験を持つ職業相談員が
相談に応じます。
とき：平日の午前9時～午後5
時

■巡回職業相談 9月15日(火)
ハローワークから派遣された
相談員が、就職についての相談
に応じます。
井阪文化会館／午前10時30分～
11時30分

■女性相談
Tel.073・435・5246

女性

■女性相談
Tel.073・435・5246

（県男女共生社会推進セン
ター）
○面接相談は、月～土曜日午前
9時～午後5時30分（電話予約
必要）
○電話相談は午後8時30分まで
○女性弁護士による相談
とき：9月15日(火)、29日(火)（電
話予約必要）

■女性に対する暴力の相談
Tel.073・445・0793（子
ども・女性・障害者相談セン
ター）

○電話相談は、毎日午前9時～
午後9時30分
○面接相談は、平日の午前9時
～午後5時45分（電話予約必要）

病院・警察・消防署の電話番号	
■公立那賀病院	Tel.77・2019
■那賀休日急患診療所	Tel.77・6410
■鞆渚診療所	Tel.79・0009
■岩出警察署	Tel.63・0110
■〃打田交番	Tel.63・0110
■〃南中警察官駐在所	Tel.77・3041
■〃粉河幹部交番	Tel.73・2054
■〃長田警察官駐在所	Tel.63・0110
■〃龍門警察官駐在所	Tel.63・0110
■〃鞆渚警察官駐在所	Tel.79・0017
■〃那賀交番	Tel.75・2066
■〃安楽川警察官駐在所	Tel.66・0012
■〃調月警察官駐在所	Tel.66・0629
■〃貴志川交番	Tel.63・0110
■那賀消防組合本部	Tel.61・0119
■岩出保健所	Tel.63・0100

編集後記

鮮やかな青空に、モクモクとした入
道雲。「まさに真夏！」という空が今
年はあまり見られません。そんな空を
見ると思い出すのは、夏休み前の学校
の帰り道。道具箱やピアノカなど、い
つもより多い荷物を持ってとほとほと
歩いたことが、頭の中に残っています。

思い出は、人それぞれいろんなもの
があると思います。ですがそれを人に
話すことは滅多にないような気がしま
す。それに、なかなか聞く機会もあり
ません。

今回の取材では、戦前生まれの人た
ちに話を聞きました。たくさんの貴重
な「思い出」を聞かせてもらいました。
帰り際にはいつも、こんな話やったら
いつでもしたげるから、またおいで、
と言ってもらいました。

家族や近所に住む高齢の人たちに
「おじいちゃんの思い出ってなに？」
「おばあちゃんの昔のこと教えて」と
聞いてみることをおすすめします。
「へえー」と驚くような話が聞けるか
もしれませんよ。（筒井）

※相談のページの「平日」とは、
祝日を除く月曜日～金曜日のこ
とです。



■髪型がキュート！ 7/27

海外との交流もあるガールスカウト活動。オーストラリアから、9人の隊員たちが和歌山にやってきました。市内を中心に活動する第9団と第10団が、彼女たちを青洲の里で迎え、青洲劇団の劇をともに見学しました。シドニーから来たという参加者に劇の感想を聞いてみると「髪型がとてもキュートだった」とニコニコ。名手小5年の佐野友美さんは「いつかオーストラリアに行ってみよう」と話していました。



■防災ジュニアリーダー

8月の3日間「防災ジュニアリーダー育成講座」が開催されました。市内の中学生たちが、9月1日の「防災の日」を前に、防災に関する知識・技術を習得しました。

消火訓練・普通救命講習・災害救出訓練など、たくさんの体験をした参加者の女子生徒(中3)は、「私がAEDの使い方を覚えることで、少しでも救える命が増えたらうれしい」とアンケートに綴っていました。



■360°の大パノラマ 8/14

市と大阪府の境目になっている、標高858mの葛城山。ブナの原生林が広がる山頂付近の展望台からは、紀の川流域はもちろんのこと、空気が澄んでいけば、大阪湾や六甲山、淡路島など、地球が丸いと実感できる360°の大パノラマが広がります。貝塚市から両親と訪れた中辻英志くん(小4)と弟の京汰くん(年長)は、「展望台は風がすごく涼しくて気持ちいい。大阪のWTCコスモタワーも見えたよ」と話してくれました。



■心静かに 8/15

竹房橋下で行われた万燈会(まんとうえ)。鎮魂と平和への祈りを込めて、約700本のろうそくに火がともされました。竹房橋の上から見ると「空」という字が現れます。毎年、この字が変わりますが、今年は「空海」から一字をとったそうです。

幽玄な尺八の調べと合わさり、橋の上から見ていた人たちは、静かにじっと眺めていました。



■古墳時代の竪穴住居を作ろう～歴史体験教室～ 8/17

古代人は、衣食住をどのようにして営んできたのかを学ぶ「歴史体験教室」。一昨年の古代食、昨年の古代衣装に引き続いて、今年は古代の住居について学びます。東田中遺跡で発見された古墳時代の住居をモデルにして、自分たちが古代人が暮らした竪穴住居を復元するのが目標です。

全5回中、第2回目の教室となる今回。参加した16人の児童たちは、歴史民俗資料館の駐車場の一面に盛った土に、壁の下部を保護するための板を埋め込む作業をしたり、垂木(たるき)と呼ばれる屋根を支えるために棟から軒先に渡す長い木材をノコギリで切ったりしました。始めはぎこちなかった作業にもすぐに慣れ、力強くテキパキとこなす児童たち。気分はまるで竪穴住居で生活していた古代人？10月の完成に向けて、作業はこれからも続きます。



屋根や壁の下地になる、小舞(こまい)と呼ばれる縦横に組む竹を火であぶり、内部にいる虫を駆除します。こうすることで、竹の寿命が飛躍的に延びます。あぶりすぎると竹が破裂すると聞いた児童たちは、おっかなびっくり!?

としょかん情報



秋のDVD上映会「おくりびと」

- ◆9月13日(日)午後2時～ 桃山1T親子ホール 先着40人
- ◆9月20日(日)午後2時～ 打田生涯学習センター 先着100人
- ◆10月18日(日)午後2時～ 那賀保健福祉センター 先着100人
- ※9月5日(土)から申込受付開始!詳しくは打田図書館まで

開館時間…打田・桃山図書館は午前9時30分～午後6時まで
粉河・那賀・貴志川図書館は午前9時30分～午後5時30分まで

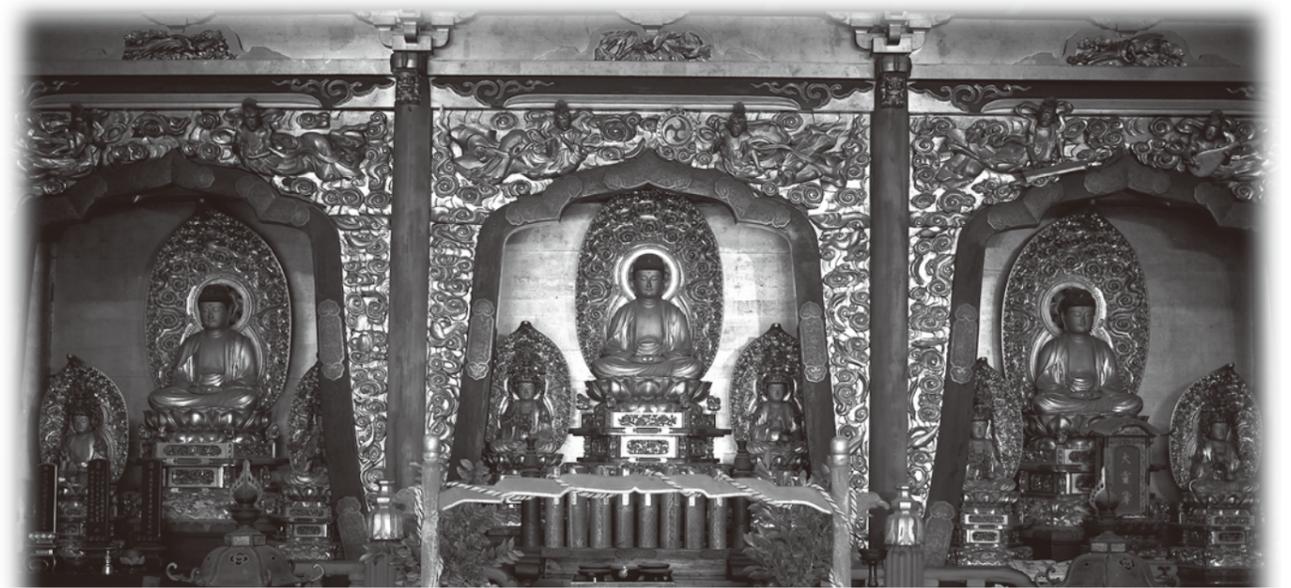
文化財



わたしのまちの文化財

三組並んだ阿弥陀三尊

わたしのまちの文化財その② 紀州十代藩主治宝と十禅律院



粉河十禅律院

粉河寺本堂の右奥に十禅律院があります。平安時代に端を發しますが、紀州徳川家にとてもゆかりのある寺院です。本堂・護摩堂・庫裡・塗上門の4棟が県指定文化財に、庭園「洗心庭」が市指定文化財に指定されています。現在は、滋賀県大津市の天台宗安樂律院派の寺院で、粉河寺とは別の寺院です。

十代藩主治宝と阿弥陀三尊

江戸時代の後期に粉河寺御池坊の盛眼が、寺社奉行所へ律院の建立を願い出て、寛政12年(1800)に許可が下りました。律院とは、經典研究や弟子育成など学問専門の寺院のことをいいます。

この時、治宝の祖母、清信院(7代藩主宗将の側室)が自分の御殿の一部を解体し、粉河に運んで本堂にしました。

翌年、治宝が阿弥陀三尊を三組と金三百両を寄進し

本尊としました。三組の阿弥陀三尊はそれぞれ、治宝の祖父、7代藩主宗将の夫人、浄眼院(正室)と明脱院(継室)、清信院(側室)の供養のためのものです。阿弥陀如来の左右に観音、勢至菩薩が並ぶ、三尊仏が三組並んでいるのは珍しい形式です。

治宝は、学問と文化の振興に功績を残しましたが、文政6年(1823)に起こった百姓一揆を契機に藩主の座を後継に譲りました。隠居後も藩政の実権を握っていたといわれています。

ちょうどそのころ、十禅律院は安樂律院派の寺院となり、惠澄和尚が赴任してきます。治宝は、この惠澄和尚に深く帰依しました。同13年には、新しい本堂が完成し、この前後には庫裡や護摩堂も完成し、現在に至っています。本堂には、治宝直筆の「薦福殿」の額も残っています。



さっちゃんのまほうのて

田畑精一、先天性四肢障害児父母の会、のべあきて、しざわさよこ/偕成社/全図書館

さっちゃんの右手には生まれつき指がありません。ある日、お友達に「さっちゃんはおかさんにはなれないよ!」「だって、てのないおかさんなんてへんだもん。」と言われます。ただどね、お父さんがこう言ってくれました。「さちこのてはまるでまほうのてだね」って。



お母さんの手、だいすき!

長塚麻衣子 著/黒井 健 絵/中央法規出版/打田・桃山・貴志川図書館

生まれつき右手に障害を持つ「さっちゃん」がほんとうにお母さんになりました。全国にたくさんいる「さっちゃん」の1人である著者が、生まれつき人と違う形の右手を自然に受け止めて、母親となるまでを綴ったノンフィクション。

■新しく入った本 図書名/著者名/出版社名/所蔵図書館名

- いきものもどき/山村紳一郎/誠文堂新光社/貴志川
- 産後ママの心と体がらく～になる本/赤すぐ編集部 編/メディアファクトリー/桃山
- かわいい「リメイク・エコ雑貨」暮らしに使える!/寺西恵理子/PHP研究所/那賀
- 南極のペンギン王国/メアリー・ポープ・オズボーン/メディアファクトリー/打田・貴志川
- こなた、バスでおつかい/田中友佳子 作・絵/徳間書店/打田・粉河

■読み聞かせの予定

打田図書館	9月13日(日) AM 10:30～	おはなしのくに (こども向け)
	9月18日(金) AM 9:45～	おはなしのくに (赤ちゃん向け)
粉河図書館	9月19日(土) PM 1:30～	よみかせのかい (こども向け)
那賀図書館	9月26日(土) AM 10:00～	おはなしれっしゃ
桃山図書館	9月16日(水) PM 2:00～	赤ちゃんみらい号
	9月18日(金) PM 3:30～	こどもみらい号
貴志川図書館	10月4日(日) AM 10:00～	おはなしのへや

9月	打田図書館 (Tel. 78・2010)	粉河図書館 (Tel. 73・3312)	那賀図書館 (Tel. 75・3111)	桃山図書館 (Tel. 66・9678)	貴志川図書館 (Tel. 64・4614)
5(土)	☺	☺	☺	☺	☺
6(日)	☺	☺	☺	☺	☺
7(月)	☹	☹	☹	☹	☹
8(火)	☺	☹	☹	☹	☹
9(水)	☺	☺	☺	☺	☺
10(木)	☺	☺	☺	☺	☺
11(金)	☺	☺	☺	☺	☺
12(土)	☺	☺	☺	☺	☺
13(日)	☺	☺	☺	☺	☺
14(月)	☹	☹	☹	☹	☹
15(火)	☺	☹	☹	☹	☹
16(水)	☺	☺	☺	☺	☺
17(木)	☹	☺	☹	☹	☹
18(金)	☺	☺	☺	☺	☺
19(土)	☺	☺	☺	☺	☺
20(日)	☺	☺	☺	☺	☺
21(月)	☺	☹	☹	☹	☹
22(火)	☺	☹	☹	☹	☹
23(水)	☺	☹	☹	☹	☹
24(木)	☹	☺	☺	☺	☺
25(金)	☺	☺	☺	☺	☺
26(土)	☺	☺	☺	☺	☺
27(日)	☺	☺	☺	☺	☺
28(月)	☹	☹	☹	☹	☹
29(火)	☺	☹	☹	☹	☹
30(水)	☺	☺	☺	☺	☺
10月					
1(木)	☺	☺	☺	☺	☺
2(金)	☺	☺	☺	☺	☺
3(土)	☺	☺	☺	☺	☺
4(日)	☺	☺	☺	☺	☺

☺=開館 ☹=休館

わが家の味



お盆だよ、全員集合

8月15日、貴志川町丸栖の榎本洋子さん（59）のお宅には、子どもや孫ら13人が集まりました。

みんなそろって、お墓参りに行った後、食事が始まります。テーブルには、かわいい孫たちの好物が並びます。一番年上の拓也くん（10）は、漬物が好きなんだそうです。2歳のとき、洋子さんが漬けた梅干を食べたときに出た一言が「なんか幸せ」。以来、洋子さんは毎年梅干を漬けるようになりました。夏休みのうち、約一週間をおばあちゃんの家で過ごした子どもたち。みんなが頻繁に来てくれるので、まだ自分の子育てをしているみたいだと洋子さんは笑顔で話します。

家族が勢ぞろいして、食べる食事が何よりのごちそうです。



子どもたちの大好きな料理が並びます。ちらし寿司、きんぴらごぼう、ひじき、ウインナー、コンニャクの炊いたの、子どもたちが食卓を取り囲むと自然に笑みがこぼれます。

上の写真左から、榎本有華さん、明日香さん、拓也くん、玲奈さん、晃生くん。